

週寫眞 報

情報局編輯
八月十一日 第二千八百四十四號

昭和十一年八月十一日 星期一 編輯部 印刷部 電話 東京 四八八七

ビルマ國の誕生



ビルマがいよいよ獨立した

大東亞戦争のさなか、全世界の注目を浴びて「ビルマ國」は生れたのである。御稜威の下、大東亞戦争がもたらした餘りにも偉大な現實に、東亞民族あげて心からの歡呼とともに、肅然襟を正さしめる感激を覚える

また、中華民國積年の願望である上海共同租界の回收も實施を見るに至り、治外法權の一部も撤廢されることになつた

顧みれば、滿洲事變に端を發して既に十有二年、幾多英靈の尊い血潮によつて築いた大東亞必勝の態勢はまさに確立されんとし、今や東亞の總力をあげて宿敵米英と雌雄を決する時は到來したのである

しかも、かくなるに及んで敵の反攻もまた熾烈を極め、世界戦局の重大性は今更多言を要しない

宣戰の大詔が煥發された朝、われら一億はたとひ全世界を敵としても、あくまで聖戰を完遂する鐵石の決意を固めた

今こそ、その決意新たに、すべてを直接の戦力増強に結集し、米英撃滅に邁進あるのみである

共同建設 共同争闘 共同建設 共同争闘



日本國「ビルマ」國間同盟條約
大日本帝國政府及「ビルマ」國政府ハ
日本國政府ガ「ビルマ」國ヲ獨立國家トシテ承認シタルニ因リ兩國ハ相互ニ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ各國ト緊密ニ協力シテ道義ニ基キ大東亞ニ於ケル共同ノ建設ヲ行ヒ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻セシムコトヲ期シ
之ガ障礙タル一切ノ禍根ヲ排除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條
日本國及「ビルマ」國ハ大東亞戰爭完遂ノ爲軍事上、政治上及經濟上有ラニ協力ヲ爲スベシ

第二條
日本國及「ビルマ」國ハ大東亞各國ノ共榮ヲ趣旨トスル自主的發展及大東亞興隆ノ爲ノ共同ノ建設ニ付相互ニ緊密ニ協力スベシ

第三條
本條約ノ實施ニ關スル細目ハ必要ニ應ジ兩國當該官憲間ニ協議決定セラルベシ

第四條
本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ

大東亞戦争下として輝くビルマ國の獨立式典は、八月一日ラングーンにて行はれた。この日朝、ビルマ方面陸軍最高指揮官河邊正三中将は、ハー・モウ行政府長官に對し、同日を以て「現行政府の施政地域における軍政を撤廢する旨」の布告を呈達し、過去一年餘に亘つて行はれた行政府施政地域の軍政の撤廢を期す。かくて獨立の準備全くなされ、獨立準備委員長ハー・モウ行政府長官以下二十五名を以て建國議會議長を兼ね、一時より開會された。河邊最高指揮官は、ビルマ一千六百万人民の熱意によつて「ビルマ國」の建設を決定、直ちに獨立宣言が發表された。ついで暫定憲法ともいふべき國家構想の基本法を決定、國家代表の推戴に際し、前行政府長官ハー・モウ氏を全權に組織し、閣僚十六名並びに樞密院顧問十九名を任命し、新内閣を組織し、樞密院は成立、政府は直ちに諸外國に對して獨立の通告を行ひ、大い

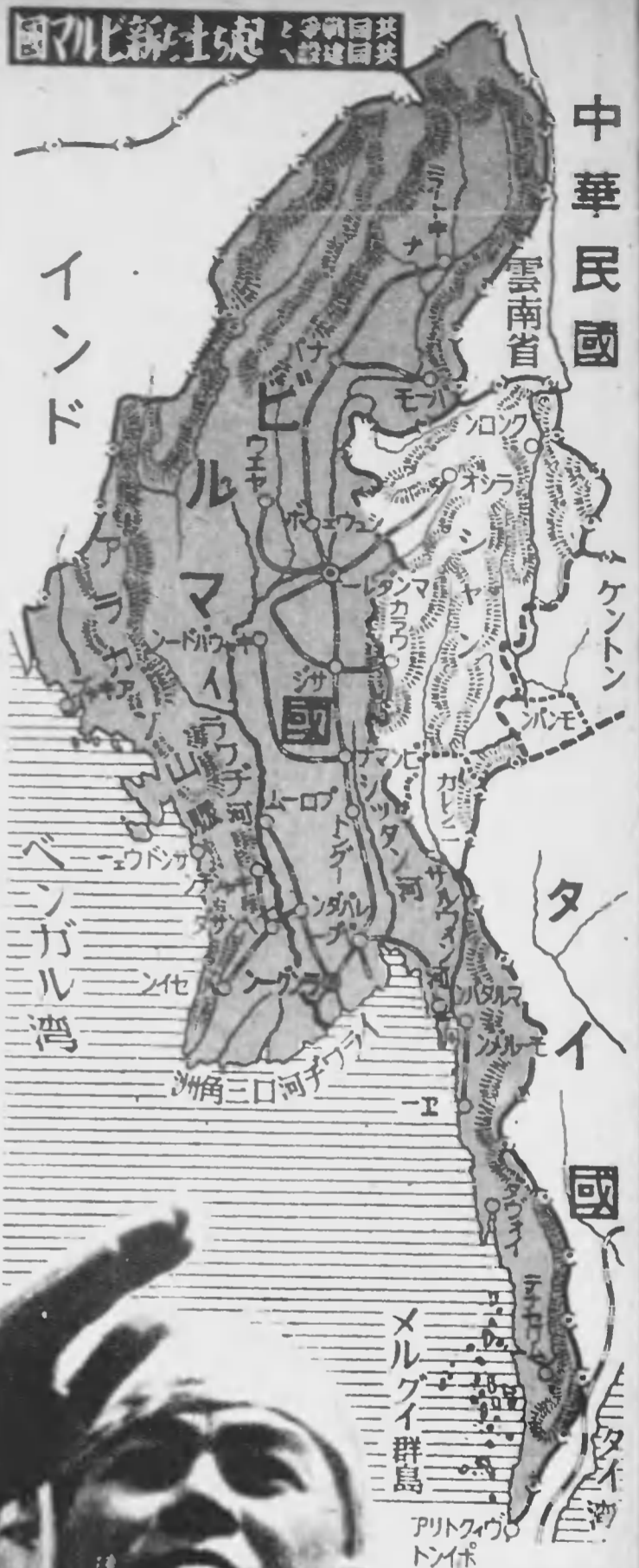
午後四時半、東亞建設、世界平和の一大障礙たる一切の禍根を排除すべく、決然、米英に宣戰を布告、帝國と相携へて大東亞戦争完遂に邁進するとの確たる立場を明らかにした

帝國は直ちに獨立したビルマ國を承認し、午後四時四十五分、特命全權大使澤田康三氏とビルマ國內閣總理大臣ハー・モウ氏の間、日本國ビルマ國間同盟條約の署名調印が行はれた

ビルマ國獨立に關して、帝國政府は一日午後九時、帝國政府聲明を發表、同時に東條内閣總理大臣談話を發表、また同日を以てビルマに帝國大使館が新設された

ビルマ國の獨立は、萬邦をして各、其の所を得しめ兆民をして悉く其の緒に安んせしむる帝國の大精神に基き東亞積年の禍根を掃除して新秩序の建設を期せんとする「帝國國是」の顯現である

「時の立札」は他へ轉載その他に引用下さい



中華民國

インド

タイ

メルクイ群島

インドネシア

り、またビルマ國は道義に基づき、日本と共に大東亞における共同建設を行ひ、以て世界全歐の平和に貢献せんとするもので、大東亞諸民族が各々の自主的發展と東亞興隆を目的として、その總力を結集し、共同戦争の遂行並びに共同建設の必成のため、搖ぎない團結を強固にしてゐる證據である。

未だにインド民衆が米英の制覇の野望の下に屈従してゐる姿と比較すると、わが日本が如何に公正な態度を以て、東亞民族の福祉と繁榮のため、信義に基づいて約束を履行しつゝあるかは明瞭であつて、ビルマ國の獨立こそ、今後における大東亞各民族の歸趨を示したものともしよう。

我々はビルマ國の願望なる發展を祝し、いよ／＼大東亞各國家各民族の結束を強化し、ます／＼歐洲友邦諸國との提携を緊密にして、大東亞戦争完遂、大東亞建設必成に邁進すべきことを固く心に誓はねばならない。

内閣閣僚一覽

首相	タキン・ミン
副首相	タキン・ウー
外務相	タキン・モウ
内務相	タキン・ミン
国防相	タキン・モウ
財政相	タキン・ミン
教育相	タキン・ミン
農林相	タキン・ミン
労働相	タキン・ミン
司法相	タキン・ミン
保健相	タキン・ミン
交通相	タキン・ミン
商工相	タキン・ミン
海軍相	タキン・ミン
陸軍相	タキン・ミン
空軍相	タキン・ミン
情報相	タキン・ミン
文化相	タキン・ミン
宗教相	タキン・ミン
民族相	タキン・ミン
地方自治相	タキン・ミン
選挙管理相	タキン・ミン
憲法相	タキン・ミン
司法官廳長	タキン・ミン
最高裁判所長	タキン・ミン
最高検察官	タキン・ミン
最高行政官	タキン・ミン
最高司法官	タキン・ミン
最高教育官	タキン・ミン
最高農林官	タキン・ミン
最高労働官	タキン・ミン
最高司法官	タキン・ミン
最高保健官	タキン・ミン
最高交通官	タキン・ミン
最高商工官	タキン・ミン
最高海軍官	タキン・ミン
最高陸軍官	タキン・ミン
最高空軍官	タキン・ミン
最高情報官	タキン・ミン
最高文化官	タキン・ミン
最高宗教官	タキン・ミン
最高民族官	タキン・ミン
最高地方自治官	タキン・ミン
最高選挙管理官	タキン・ミン
最高憲法官	タキン・ミン



「獨立の歌をもつて、日本と共に米英軍艦隊へ征かん」
唱導するビルマ國民
パー・モウ首相は叫ぶ

ビルマ起つ

明治十八年十一月二十九日(西曆一八八五年)英軍アレンダグの率ゐる英軍は非力のビルマ軍を壓迫して上ビルマの首都マンダレーを占領、ビルマの末帝タイボー王を捕縛した。こゝにビルマ王國は終焉を告げ、全ビルマは悉く英の魔手に委ねられるに至つた。

業は老若男女あけて河邊に慟哭した。彼等の國は奪はれたが、精神は決して奪はれはしなかつた。ビルマ王朝滅亡以來實に七年間、上ビルマのこゝかしこに繰り掛けられた民衆の反英抗争に英國が如何に手を焼いたかは、この間の事情を物語るのである。

大正三年(西曆一九一四年)歐洲に起る風雲に刺戟されて結成され、日露戦争後日本に學んだ傑出ウ・オッタマ僧正を指導者とする「ビルマ佛教青年會」は、ビルマ人の政治的自覚が初めて凝集したものであつた。以來ビルマの民族解放運動は英の彈壓下に徐々に展開され、大正九年頃のインド政變のビル

てらん／＼と輝いてゐた。長くも宣戰の大詔はあせられるや、皇軍の雄赫たる戦果に、英人等は周章狼狽しつゝも敗報をひた隠しに隠し、一方惡意傳に馬力をかけ「日本兵は住民の耳を切り手を切つて迫害するぞ」「日本の飛行機はイタリヤから買つたもので、さう速く飛べない」等々、荒唐無稽の流言をよみまいた。ビルマ民衆は日本の事情を必ずしもよくは知らなかつたが、東方から轟く皇軍の熾んたる鐵蹄の音が心強く響いた。殊に毎夜東京からのビルマ語放送は、どんなに寂寥を帯びたことか。英人監視の眼を逃れ、ラ



首相 タキン・ミン
副首相 タキン・ウー
外相 タキン・ヌー
内相 ウ・パ・ウイン
農相 タキン・タン・トン
商工相 ウ・ミヤ
国防相 オン・サン少將
法相 ウ・ティン・モン

願みれば、西曆一八二四年一八二六年の第一次英緬戦争によつて、英國は先づインドに近きアラカン地方と東南部タイ國境方面を奪取、次いで一八五二年の第二次英緬戦争により中央南部ビルマを奪取、更に第三次英緬戦争によつて北ビルマを奪取し、全ビルマを降したわけである。

英軍の手に捕へられたタイボー王が英艦艇に移され、思ひ出深い王都マンダレーを後に、イラワチ河を下流してインドに連行される日、悲涙のビルマ民

マ統治法に對する闘争、昭和五年の印緬分離統治問題をめぐつての紛糾を経て、昭和十二年インドより分離せるビルマ統治法によるビルマ政府が出現した。これとてごく限られた面だけにビルマ人の參與が許され、重要施政は依然として英人の手に握られてゐた。

まことに不幸であつたビルマ人。成程、中心城市ラングーンは昭南キヤンコクやサイゴンに比べて優るとも劣らない立派な都市と思はれる。けれどもこれはビルマ人の都市ではない。英人どもの幸福と福勢のための都でしかなかつた。ラングーン市の土地でビルマ人の所有にかゝるもの僅かに一割あるか無しといふ一事をもつてなても、思ひ半ばに過ぎるものがあらう。

この念願に應へて昨年一月、皇軍はビルマに進軍した。神兵來るの報は全ビルマ民衆を震撼させた。かくて、一月三十一日モールメン完全占領、三月八日ラングーン陥落、五月一日マンダレーを攻略し、遂に五月下旬全ビルマを鎮定した。

この間、ビルマ民衆は皇軍に心から協力したので、舊タキン黨を中心とするビルマ獨立義勇軍の取崩れもさることながら、皇軍の進軍する町といふ町、村といふ村で示したビルマ民衆の限りない信頼は、大東亞戦争史の一頁に輝けるべき美しくも涙ぐましい詩材でなければならぬ。

かくて、六月三日ビルマに軍政施行、パー・モウ博士を委員長とする中央行政機關設立準備委員會が結成され、八月一日には行政機關設立準備委員會が正式成立となり、大東亞共榮國建設に資せんとして、自覺の努力を續けてきたのであるが、本年一月二十八日、帝國議會に於て「遅くも本年中にはビルマ國の獨立を認めんとする」旨の帝國の大方針が中外に聲明されて、ビルマ人を感謝感激の増城に投じた。更に三月二十五日、東條總理は帝國議會に於て再びビルマの獨立に關し、皇軍の國策の創意と責任とを對して速かに完全な獨立の實現を具する旨言及され、折から東京中のパー・モウ長官は、ちろん、ビルマ民衆の決意を促されたのであつた。

越えて五月八日、パー・モウ長官を委員長とするビルマ獨立準備委員會が結成され、政界の長老タキン・コドウ・マイ、カレン人代表セ・シー・ボ博士等二十五名の各界代表の委員が、熱情を吐露して獨立の請願を決定し、めでたく今日、「獨立」の曙光の日を迎へたわけである。

た異常なる熱意と協力ぶりを見よ。戒律のやかましい佛教界は二千年來の劃期的大躍進をとり、近く打つて一丸となり、新國家に協力し、小黨相割に個人政界は昨年來一國一黨のド・バ・マ・シンエサ黨によつてビルマ國の地盤を築いたし、文藝界はビルマ文藝院によつて興國の實を擧げようとしてゐる。ビルマ民衆の國土防衛運動は、昨年末指導者の訓練を以て展開されたが、今やビルマ全縣に亘つて男子女子の民防指導者を中心として、不斷に、組織的に活潑な歩みを續けてゐる。防空、防諜、公路愛護、生産増強、消費節約、人心安定等、各方面に亘つてビルマ史上空前の參戰體制が組織され、清新激刺な新國家の逞しい力となつてゐるのだ。

接敵地域ビルマは、かりそめの氣安めも許さぬ。この雄々しく緊張した戦國氣の中に、ビルマ民衆はじつくりと腰を据ゑ、あらゆる苦難に打ち勝つて、國力を日ごと内に蓄へてゆく。そこに新國家の戦力がある。



派を家屋に多數の召使を擁し、ビルマ人の血統にならざる高給を食み、ウイスキーと運動と遊戯に快樂の日を過してゆけばそれでよかつた。

人を愛さなければ自分も亡んでしまふ。佛教に説く因果應報はビルマの生活信条である。ビルマ人に一片の愛惜もない者がビルマを支配することはあり得べからざることである。第二次歐洲戦争勃發後敗戦續きの英の懷恨憂色が隠し切れないものとなり、ビルマ民衆への無理強ひが惡くなるにつれ、これと反比例的にビルマ人の反英闘争が活潑化し、その指導者達は、インドと同様に多數投獄された。パー・モウ首相はモゴクの監獄に投せられ、タキン・ミン・副首相もまた獄に呻吟してゐた。前交通運輸部長官タキン・バセインは國外脱出を企てて投獄された。英人どもは指導者の投獄で大事なしとみたが、いづくぞ知らん、ビルマ民衆の活眼は、東方を凝視し

全國民から選ばれた民防衛の婦人幹部養成の合同訓練がラングーンで行はれてゐる。「獨立」の歌の奏樂のうちに婦人部長パー・モウ夫人の演説を受ける乙女の顔はビルマ國民の自覺に明るく輝く。

今日、ビルマ民衆は皇軍に協力し、各方面に亘る建設奉仕隊やビルマ防衛軍に参加して尊い奉仕の勞働をし、また敵艦隊の掃討に奮起してゐる。

皇軍への協力、そしてビルマ建國に向つて示され

あゝ、新しい國家ビルマ。わが建國の大精神はこゝに分現。われ／＼はビルマ民衆と共にこの榮光を身一杯に浴びると共に、今日の喜びを分つことなくビルマ作戦並びにビルマ周邊の作戦において惜しくも散華、大東亞建設の尊い人柱となつてビルマの山野平原に眠るわが忠勇の英魂に、心からなる感謝の念を捧げずにはをられない(現地寄稿)



総合訓練を受けたビスマの婦人

今日の訓練に当たったビスマの婦人

ビスマの婦人が今日の訓練に当たった。傷の処置をする者もいる。



光復の建國に高鳴る胸の感動を、このまゝ燃ゆるが如き祖國愛に置きかへて、起ちあがるビルマ人は新國家の育成に、各人が責任ある義務を備へてゐる。ビスマの防衛はわれわれの手で、と自ら決りあがるやうに組織されたカンブリン警防隊と隣組組織もまたその一つの現はれであらう。

かねて防空思想の普及とその指導にあつたビスマ現地軍當局では、バハン、カマヨの兩地区を現地軍と連立し、同地区の警防隊、隣組を組織して機動的綜合訓練を行い、これを各別した。

この際、兩地区の警防隊長、隣組長は、小黒誠一



火は隣家に延燃したといふ想定のもとに、隣接隣組員も機動的に駆けつけるの消火作業。← 待避状況を観察する當局係官と、雨期のビルマ



で組隣も空防のマルビ

國マルビ新土現



訓練空襲警報が発令されるや、スハ敵機！とばかり直剣に大空を見守る隣組員の監視ぶり



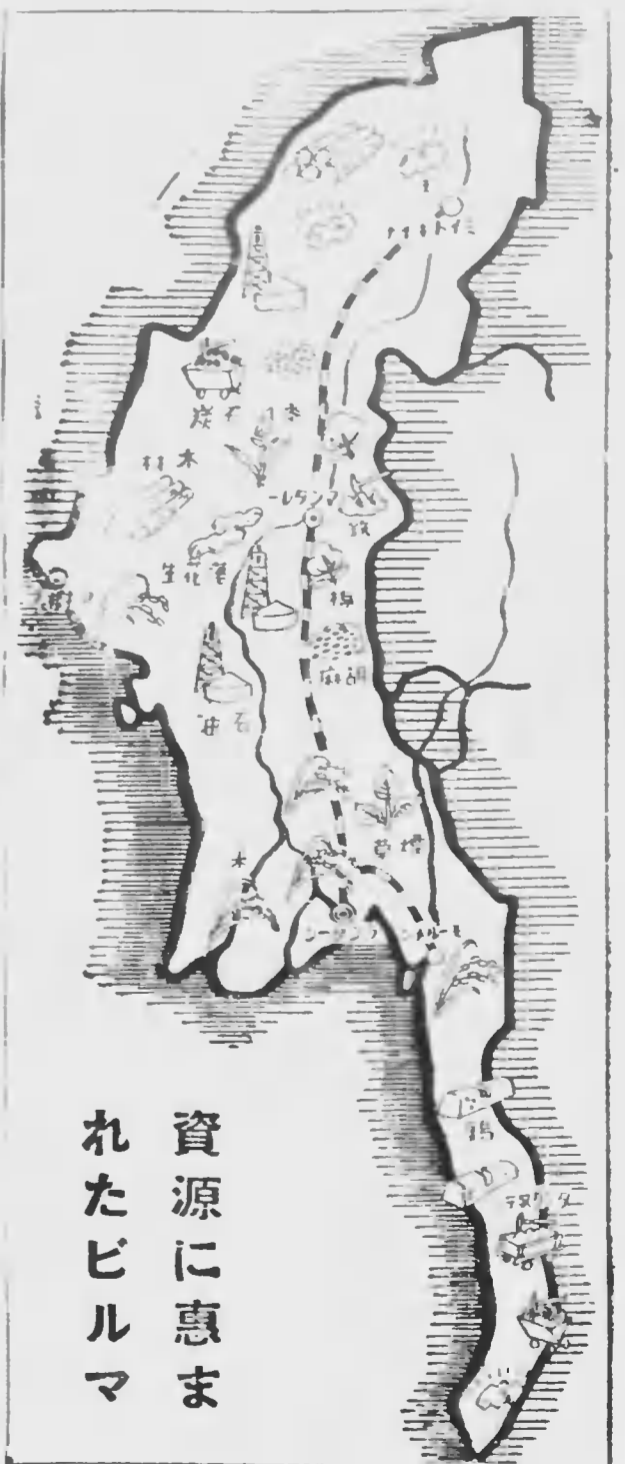
わが地上砲火によつて破壊された敵ハリケーンの残骸を見物するビルマ人

澤庵の現 地自給

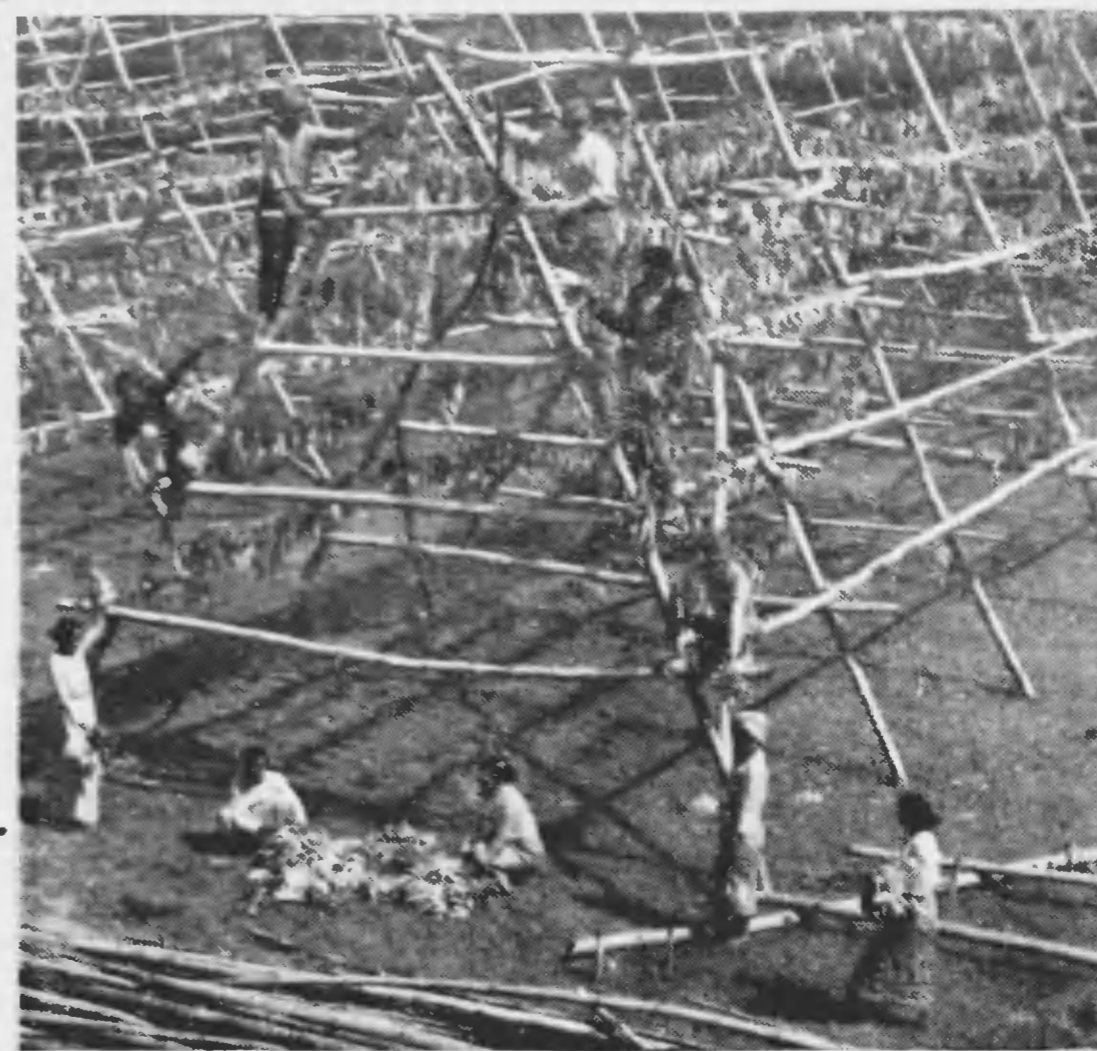
ビルマ〇〇部隊自活研究所

小黒 誠一

← 舟漕がかけた甲斐あつて、見事に成育した内地種の
大根を手に喜ぶ兵隊さんと、農園に働くビルマ人
みる／＼うちに干大根の花が咲く下



「くあんでお茶つけをくいたいな……」〇〇で作られてゐる
と、ビルマの……で、しみんと……合 『〇〇部隊自活研究所』と、羊太に書かれ
つてゐた兵隊さんのひとむれがあつたが、 たもの／＼しい門札に、 ちよつとたしる
その……と、ところもおなしビルマの ぎながら訪ふと、 自部隊 矢野隊長を隊長



に、兵隊さんたちが、いロンギ、青いロンギ、不始な敢闘精神と夜夜をのめた……な研
究のビルマ人たちの真摯な協力を得て、 究心とが實をすすんで、 三度目の改良品種
大根の栽培から漬け込みまで、いつさいが は見事に成育した。いま三ヶ村にある自部隊
つさいビルマ製澤庵漬の現地自給に、大 隊の附属農園は、 驛馬大根以上の良品で
の備であつた。 生産してゐる。 漬け場は、敵が遠慮したセ
ムントを……に使用して作った立派なもの
だ、すりと喜んでゐる。そのまゝそつく
り防衛壕にでもしたいやうな頑丈さであ
り、既に三回にわたつて出荷した試作品
は、關係方面に好評を博してゐるから、前
線の兵隊さんたちが、母國の味々、に舌鼓
をうてる日も決して遠くはない。しかも、
苦害をわすれてはならない
⇒ これ……長……の手からビルマ
人の手へ……として……パゴダの下で
日協協力の味が……出されてゆく……

二回にわたる試作段階は、氣候風土の
關係から發芽させず失敗に終つたが、

パデゴンの戦い

作家 マルビ
原 賢 大

愛する娘 マーミヤ

ラングーンプローム道路に沿

うて走りひらけられた戦線中、パ
デゴンの戦いは最も大きな戦争
の一つで、シュエダウンプロ
ム(近郊)の戦線にも比すべきもの
であらう。パデゴンの戦いは
下)の戦いはたつたと同じこと
であったが、この戦いは朝の五時
半頃から夕方八時半頃まで、約
十五時間ほどに亘って行われた。マ
ーミヤ、お前が若しこゝにゐると
したら、きつとびつくりして死ん
でしまつたかも知れない

以て私はラングーンにゐると
き、戦争のニュースを新聞で
見たことがあるが、この戦線は自
分のこの眼で見た。現代の兵器は
全く驚くべきものだ。殊に機關
銃、大砲、航空機の上はらしさ

石油の海

戦線について書くに先立つて、
イギリス人がどんなにして石油を
得たか、詳しく書くと、二つから
二時間に亘つて砲撃である。英兵
は恐怖に陥つて、走り出した。
無数の自動車や戦車が路上を疾駆
した。中には行く方向も分らない
まゝに

眼をあげて周囲を見廻すと、夜
が明けかけてゐた。私の家の前に
あつた大砲は最早無かつたが、幾
人かの英兵が地に覆ひになつて
て、絶えず機関銃をタタキと
撃ちまくつてゐた。彼方の新田の
方はと見ると、勇敢な日本兵が地
上に身をかがめ、馬のやうに倒ひ
ながら前進した。前進して来るのだ
つた。肉薄戦で、一方はいつも勝
ち、いつも支配的で、まづしぐらに
敵に迫り、一方はいつも叩きのめ
されて退却する。このやうにして
英兵は退却し、退却し、勇敢な日
本軍は砲撃高らかに内海をとい
つた

私の家の前にはあるドゥ・ス
ミヤの家の下の地下には、機関銃
を持つた三人の「白狼」がゐた。彼
等は前方に立つたのだが、背後か
らやつてきた大砲の一人の日本兵
に気がつかない。この日本兵は
機関銃を突きつけて三つの機関銃
を破壊してしまつた。もう一人の
日本兵はアメリカ兵に弾丸を被
して後を待たされて、まづた、日
本兵の勇気は英兵と比べものにな
らなかつた。日本兵達は撃ちて後
止む精神を持ち、英兵はたゞ逃げ
ることのみを考へてゐる

ビルマ國誕生の陰には、東亞諸
國のいはれたやうに、英國の非人
道的壓迫に無念この世を去つたビ
ルマ志士とビルマ作戦に協力起
したバーモウ氏以下のビルマ人
士の努力があるばかりでなく、
熊多堂勇義、熊多堂勇義、熊多堂
勇士とか、熊多堂の異名の人となら
れたことを多々、隠して戦争の旗を
掲げよう

この一隊はビルマ山野に陣取
る皇軍將兵を、神兵來るの感奮を
以てビルマ作家が描いたもの
で、戦ひさなにも情を忘れぬ
日本の武士を心から讃へてゐる
如く、こゝにこゝにこゝに

思ふ。パデゴンの北四里の所に
パデゴン町がある。ビルマ作戦
の戦線はパデゴン町から、戦
争の起る三、四里、戦線目的
の英人達はパデゴンに集り込ん
だ。精進を要する、電報線を切斷
し、橋梁を破壊し、道路を閉鎖す
るの作戦の仕事であった。かくし
て野戦油は大砲をなして流れ、民
衆は飲めぬほどの油をとつた。こ
の油は野火のやうに隣村にひろ
がり、何百といふ民衆が、戦車や
サイカーに乗り、夜を待たせて
油を盗りに出た。私もサイカー
で行つた。何人でも、パデゴンと
ラングーン間の路は中車やサイカー
で一人、一人、一人、一人、一人
のスピードが速い。通るよりも比
べられないほどの騒音がありで
あつたといふことである

油をとるため、我々は油の中を
踏まふて行つて、樽や壺に入
れなければならなかつた。その間
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線

太陽が東に現はれる少し前には、
英軍部隊はパデゴンにゐるな
つた。そこで、ラングー村、イン
タータン村に陣取ると、ラン
グーン村から進軍して来た日本
兵は、戦車の中に英兵は前線

には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線

には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線



民衆は異口同音に叫びだした。
「皆んな、泣いてくれなだぞ。
戦争を戦つてはいけません。戦争
を持つてゐるはいけません。この油
は我々の國の神物だ。我々のもの
だ。我々のものだぞ」
我々は皆んな泣きだした。ま
で人知のやうには見なかつた。
私はサイカーで二隻、油を運ん
だ。この家も、隣の家も、すべて
の家が油で燃やされた。油一罐が
たつた二十五セントで買へた。そ
のとき、近頃の村々で火が起つた
と聞くやうになつた

戦車と獲物

英人たちは獲物を破壊するのを見
て、私は不安になつた。私はま
ごを置くの村に移つた。パ
デゴンの戦いで、多数の英兵が殺
れ、陣山の戦車はパデゴンに退
却した

戦車は、戦車は極めて容易である。
が、しかし、勇気が要する。『ハラ
キリ』精神を持つ勇敢な日本兵の
やうな勇気が、まだ物も定かに見
えない。二人の日本兵が二箇の
車輪を離して、道の傍にうつ
くまつてゐる。退却するイギリス
のタンクが全速力で過ぎる。タ
ンクが通過したと見ると、二人の
日本兵がその後を追つかけていつ
て、陣山から陣山の間を目標を
突込んだ。戦車がガラ／＼と退
却した。と見る間に日本兵は戦車の上
に乗つて、戦車の中に手榴弾を投
げた。戦車の中に英兵は前線

には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線

には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線

には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線
には、戦車の中に英兵は前線

つて、戦車もろとも生捕りにされ
たのであつた
戦車は、戦車は今一つの方法があ
る。私は見なかつたが、目撃した
一友人の語るところによると、日
本兵は布切のついた瓶の中にガソ
リンを入れてゐた。戦車がやつて
きた。彼等は戦車を標的を撃つた。
そして瓶のあつた所を撃つた。戦
車の中の英兵は燃やしてはたまらぬ
と、出てきて降伏した
こんなわけで、英人達は日本軍
に出くはすと、いつでも逃げた。
時には、戦車を標的にしてゐる連中
が恐れて進路を誤り、パデゴン
の西方の沼へふみこんで日本軍の
俘虜になつたりした

戦況

戦況状況を述べる前に、パデ
ゴンの位置について書かう。こゝ
はラングーンプローム道路から
五哩、つたラングーンプローム
道路の沿線にある。そして、パ
デゴンからは三つの道路が出て
ゐる。その一は南に出てプロム
道路に合し、その二は北に出て鐵
道に沿つてプロムへ、その三は
僅か五哩の長さの道路で、終點が
大きな湖になつてゐる。こゝで英
軍の戦車は降伏しなければならな
かつたのである

私はパデゴンがビルマにおけ
る戦場の一つになるとは思はな
かつた。といふのは、こゝはプ
ロム道路から離れてゐるから、
戻つてくると、チャンガン通りを
全速力で自動車に乗る二人の英
將校が目撃された。と、日本の兵
士は水筒を差し出した私の手を
振り向きませず、柱の後に忍び寄
つて、自動車に接近したと見るや
射撃した。英將校の一人も拳銃を
取り出して日本兵を射撃した。し
かし、日本兵は柱の陰に身を隠し、
再び射撃した。二人の英將校はも
んど打つて自動車の中から逃げ
落ちた。一人は心臓を射抜かれ、息
が絶えかけてゐた。他の一人は腿
を撃たれたが、直ぐには死ななかつ
た。彼は帽子をとつた。そして
倒れた。日本兵が傍にやつてく
ると、その英兵は水を呑ましてく
れと懇願した。日本兵は自分が
呑まうとしてゐた水を彼に呉れて
やつた。それからポケットから煙
草を取り出し、火をつけ、英兵の
唇にそれを入れてやつた。すると
英兵は彼のポケットから一枚の寫
真を取り出し、これで水の別れた
とばかりに寫眞に投擲した。寫眞
には子供をかゝへたイギリス婦人
がうつてゐた。きつとこの英兵
の妻と子供であらう

もう一つの戦況である。日本兵
達は支度を済ませ前進を始めてゐ
る。しかし、幾人かの馬に跨つた
日本兵達は私の家の後の木の
下にゐた。二十分もたつた頃、我
方はパデゴンの北のヤラ村の
方で大砲の音を聞いた。一人の
一人の日本兵が私に覆ひになれ
と言ひ、彼もまたさうした。私は

しかし、パデゴンからプロムま
では二十五哩で、プロム道路た
つたら四十哩ある。こんなわけで、
パデゴンは戦場になつた。英軍
は川沿ひにプロムに退却して
いつた。彼等は迅速な日本軍に退
路を斷たれることを恐れてゐた。
そこで、たつた一日、パデゴン
に止つてゐなかつたのである
四月の最後の週に、パデゴン
戦が始つた。その前日、私は妻
と家族を近くの村に送つた。眞
夜中頃、部隊がパデゴンからパ
デゴンに移つて始めた。多分五
百人位の兵だらうと思つたが、三
千人もゐた。彼等は、その配置に
ついた
私は一人の英將校に向つて、戦
争があるのかと尋ねた。すると彼
は、日本軍の出方如何だ、こゝに
止つてゐない方がいい、と私に忠
告してくれた。しかし、私は戦争が
見たかつた。私は私の家の前に大砲
が置いてあるのを見た。そこで、
もつと戦線でも起つたら避難場が必
要だと思つたので、急いで小さな
壕を作つた
たつた一日待つて、大砲が終
に轟き、これにつれて銃といふ銃
が火を發するのを見た。月は丁度
地平線の彼方に沈しようとしてゐ
た。町には魔のやうな英兵が作
してゐた。人々はあちこちに走り
出した。鳥はかあ／＼と啼き騒
ぎ、犬や猫もそこらあたりの隠れ
場所へ走つた。私は壕の中で腹
切ひになつてゐた



見事な戦域... 志願兵の入隊... 内地の兵に比して決して遜色がないといはれる上左
 訓練所から兵隊へ、その日も近づくにつれて、自衛隊の勉強も近づく
 教官の一語々に耳を澄まし、そして必ず自衛隊の神となつて先鋒に動く決意を誓ふ



朝鮮同胞も護國の大任に

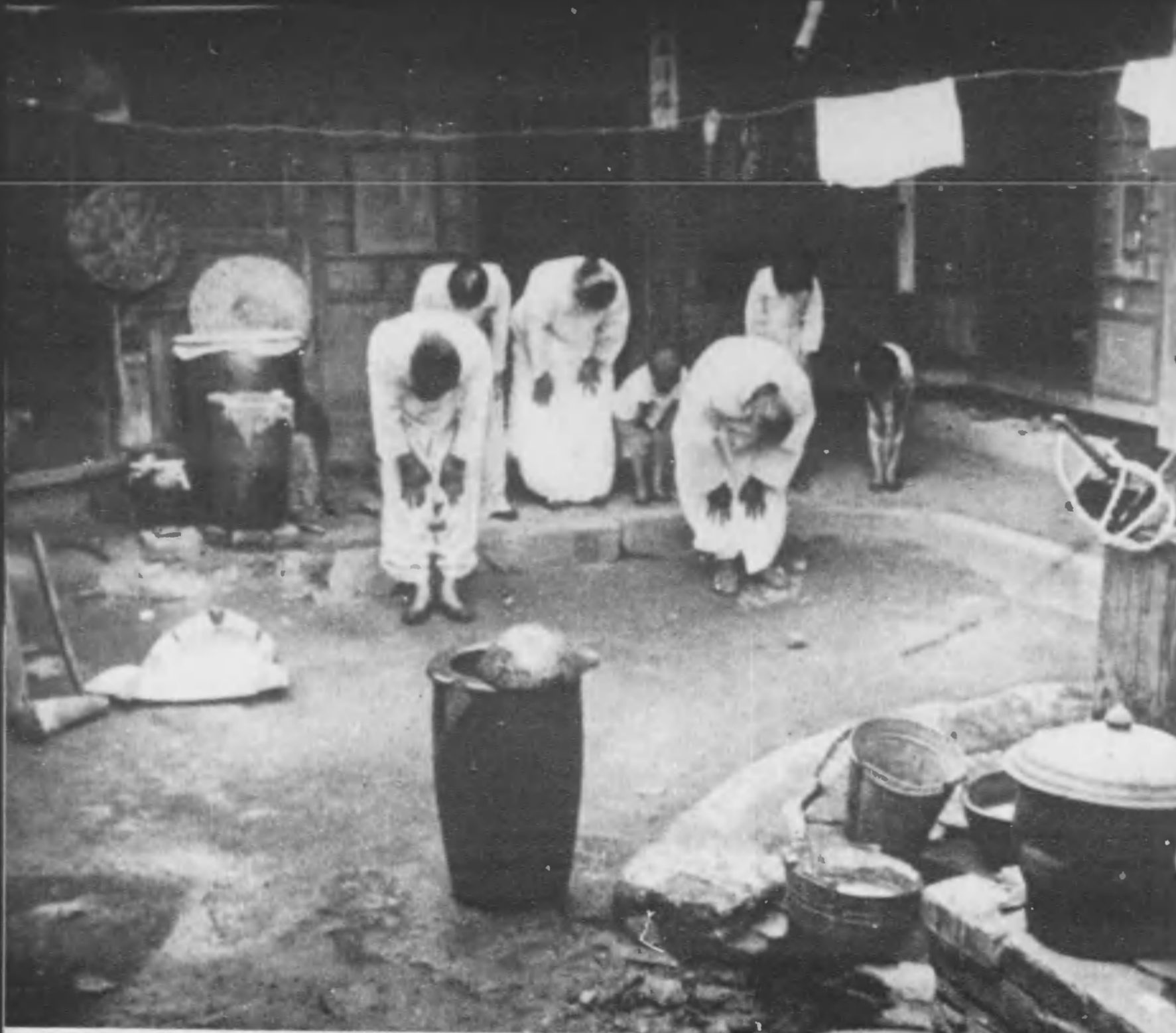
大東亞戦争は決戦段階に入らぬ。敵は血みどろの總反攻を繰返してゐるが、この秋に當り、國民皆兵のわが兵制は更に巨大な一歩を進め、新たに朝鮮二千四百方の同胞も、光輝するわが兵役の榮譽を授け、祖國の大任につくことになつた。

徴兵制の施行に先立ち、昭和十三年、先づ特別志願兵が採用せられ、これに朝鮮同胞も年齢満十七歳以上の男子で、總督府陸軍兵士訓練所を修了した者は、現役または補充兵に編入され、軍務に服することができるようになつたのであるが、支那事變以來、朝鮮同胞の愛國の熱意は、日に昂まると一方、志願兵の成績も年を逐うて向上し、その優秀な者は既に將校となつてをり、戦場における活躍もまた目覚ましい、殊勳の恩賞を賜はつた者もあり、祖國の英雄として韓國神社に合祀された者もある。

殊に鮮血淋漓たる中に、戦友に抱き起されながら、遙かに宮城を拜し、天皇陛下萬歳を三唱して、涙目する如き、その最期は誠に立派な皇軍將兵であり、これによつて徴兵制が實施されることになつたのである。

かくして去る八月一日、徴兵制の施行と同時に、満十七歳以上明年満年齢までの男子は直ちに第二國民兵役に服することになり、明年の過齡者は、明年徴兵検査をうけ現役兵に合格すれば、明年十二月以降軍隊に入營するのであるが、今や國民皆兵は名實ともに整へられ、一位悉く皇軍御神兵となつて、米英撃滅に突進する日は来たのである。眞は總督府陸軍兵士志願者訓練所て警々訓練を賜ひ、晴れの日を待つ朝鮮同胞





国民の普及と教育の普及は皇國臣民化と一體不可分である。國語普及講習會で國語の熟達をはかる人々



朝鮮半島の日本統治は、朝鮮同胞を「こゝろよく皇國」に育て上げられる大御心につきまわすものである。朝鮮同胞は皇國統治の下に皇政以來三十四年來、朝鮮同胞は皇國臣民としての責任の向上義務を履行し、皇國正任の肉親人となす。これを肉親の身分として皇國を「我が文化の故郷」とも皇國の故郷と見做す。

皇國同胞は皇國に居る皇國臣民として皇國の同僚の愛護の心を、皇國の事から大東亞戦争を通じて、いよいよ皇國の衣冠に適合せざるを極むを、今日皇國をあげて戦争を遂げ進出する皇國同胞の責任、この皇國の責任の首尾によつても十分説明することができぬ。

一、我々皇國臣民は皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん

二、我々皇國臣民は皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん

三、我々皇國臣民は皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん

以上は皇國同胞が皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん。皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん。皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん。

皇國同胞は皇國に居る皇國臣民として皇國の同僚の愛護の心を、皇國の事から大東亞戦争を通じて、いよいよ皇國の衣冠に適合せざるを極むを、今日皇國をあげて戦争を遂げ進出する皇國同胞の責任、この皇國の責任の首尾によつても十分説明することができぬ。

一、我々皇國臣民は皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん

二、我々皇國臣民は皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん

三、我々皇國臣民は皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん

以上は皇國同胞が皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん。皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん。皇國の皇國力ヲ養ひ、以テ皇國ヲ強クせん。

遅れぬ朝鮮の銃後

皇國同胞は皇國に居る皇國臣民として皇國の同僚の愛護の心を、皇國の事から大東亞戦争を通じて、いよいよ皇國の衣冠に適合せざるを極むを、今日皇國をあげて戦争を遂げ進出する皇國同胞の責任、この皇國の責任の首尾によつても十分説明することができぬ。



公債還元の常會—昭和十七年には國民貯蓄九億圓の目標を達成に突進し、九億九千五百七十五萬圓に達してゐる



既に志願兵として戦地にある愛児のために針々々の奉仕をもとめる時、全く内地と同じ頼もしい風景だ





気持のよかった 満洲の汗

満洲建設勤勞奉仕隊女子青年隊

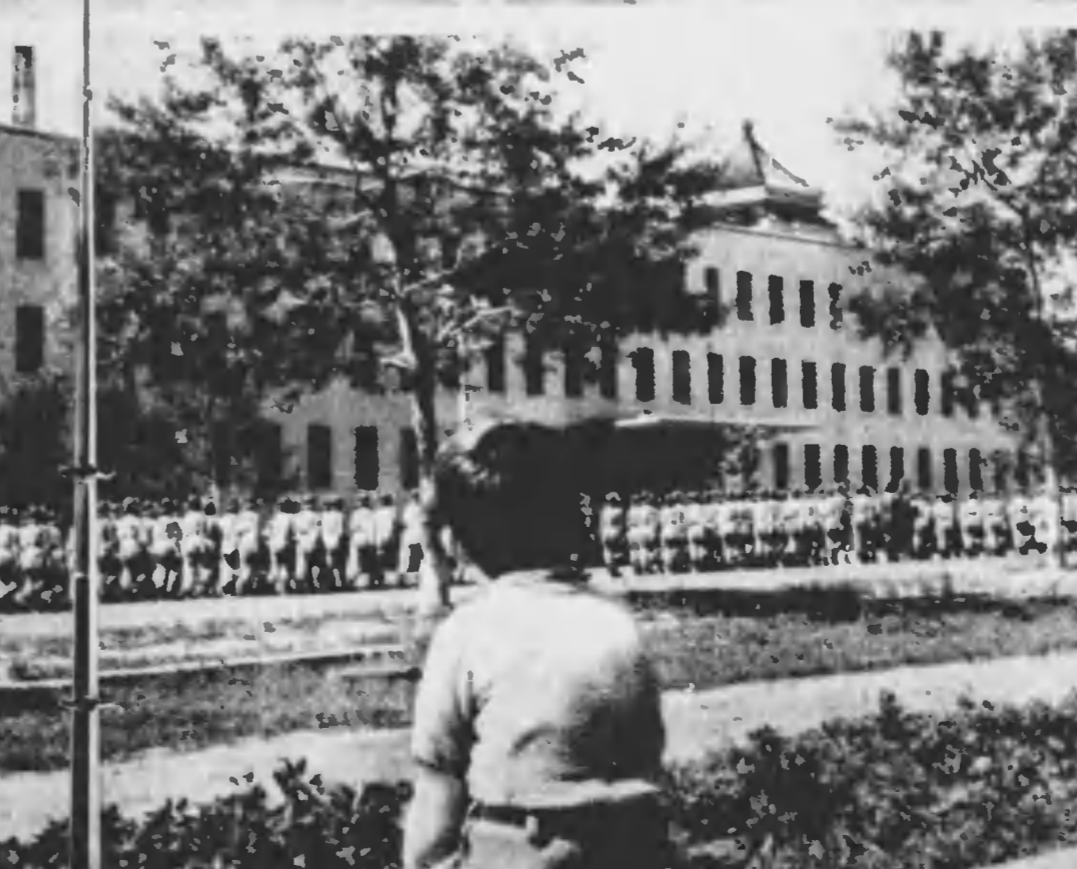
満洲建設に注ぎこむ我が青少年の逞しい意欲が實を結んで、事歸還した。隊員は何れも若さ満洲國はすく／＼と伸びてゐる。と健康に溢れ、將來は大陸に進出する。今夏も全道府縣から選ばれた二百五十名の満洲建設勤勞奉仕隊女子青年隊が六月上旬から六月下旬までの約一ヶ月間、満洲開拓青少年義勇隊訓練所や開拓訓練所や開拓團に配属されて、訓練所が見える。萬歳！ 萬歳！ 義勇隊の元氣な顔が迎へてゐる。



隊員の運々しいでたち

作業、農耕作業などに、鐵手よく期間一杯頑張り続けたが、歸還後も大陸の實踐的訓練で體得した興亞精神を活かして、女子青年團興亞運動の中核となすことになつてゐる

撮影 大日本青少年團
新京市の大岡大街を國務院へ堂々行進する女子青年隊

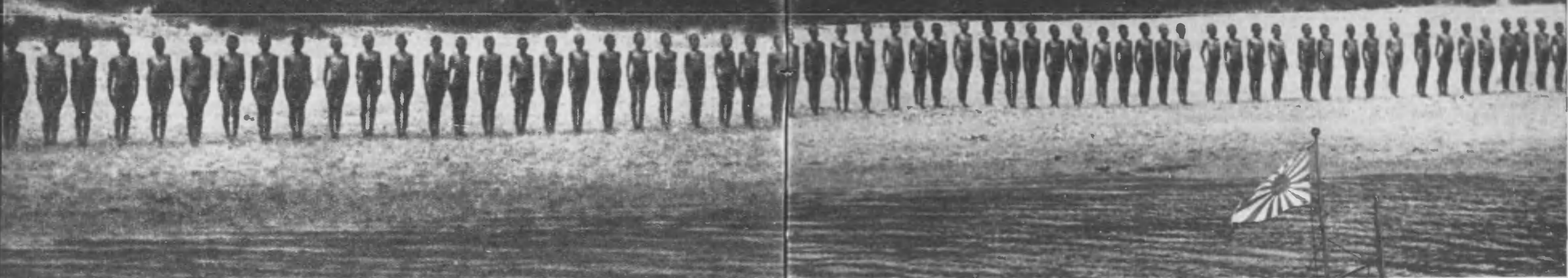


酒で洗濯「かうして洗よとすつと綺麗になるわよ」

乳搾りも短期間とは思へぬほど上手になつた

「村づくり」の希望を語り合ふ。大きな理想、楽しい夢





豊かに鍛ふ 大阪市中村照夫
 少年隊の活動は、大阪府布市第七国民学校海洋少年隊の活動です。同校の少年隊は全国でも有名な隊で、大和川の一里の塔(塔)附近で、お手のもの水泳訓練を實施、酷暑を吹き飛ばして鍛へておる。

豊かに鍛ふ 少年隊員



情報局監修『戦ふ日本』特報
 常に戦場に在り 日本映画社製作

本映畫は、元帥山本五十六大將の不滅の武勳をしのび、元帥の幼少時代より太平洋最前線上空において直接指揮中敵と交戦、壯烈なる戦死を遂げられるに至るまでの、忠勇至誠、滅私報國の烈々たる精神に、つらぬかれた生涯を叙し無言の涙をなされた元帥の英靈を迎へ、嚴肅に執行された國葬の状況を記録した映畫で、武士の心構へとして元帥が幼少の頃より終生備えておられた『常在戦場』の精神を以て、一億國民が總力を挙げて米英撃滅に邁進することこそ、元帥の英靈に應へまつる道であることを示したものである。

海軍関係寫眞の複製複製は海軍省承認済(第五二四二號)

増産の手帳

稲熱病と浮塵子の防除に努めませう

稲熱病やセジロウカ、トビイロウカは、稲の病害虫の中で最も恐ろしい大敵です。そして、大減收の原因となるものが少なくありません。ところで、いよいよこれ等病害虫の発生時期となりまして、

さあ、稲熱病に對しては、窒素肥料の効き過ぎたやうな田圃とか、毎年出易い田圃、それからまた、今まで葉枯熱病の多く発生したやうな田圃等には特に注意して、

▽穂染期、穂揃期には必ず葉枯熱病を、出来るだけ共同撒布のやりませう。

▽穂揃期に撒くと、稲が傾くことがあります。玄米には影響ありません。それから浮塵子に對しては

▽常に早期発見に努めて適期防除を

▽開始してから一様に幼虫が十



穂肥をしませう

穂肥は増産のため非常に有効ですから、次ぎのやうな點に注意し、指導者の指導に従つて、ぜひ實行いたしませう。穂肥にせむ肥料は硫酸アンモニアやうな速効性窒素肥料に限ります。▽穂肥の時期は稲の出穂期(穂)

×の出はじめ頃)の約二十五日位前で、盛んな分蘗を終つて葉色が僅かに褪せた頃です。▽穂肥の分量は稲の出来を見て定めるべきですが、だいたい一段當り硫酸アンモニア一二貫程度でよろしいでせう。二貫以上施すと危険ですから注意を要します。

▽穂肥の施し方は、だいたい次の要領で行ひます

1、分量が少くから乾土または砂等と混ぜ、容積を増し、むらなく撒布します

2、施肥前、淺水とし、施肥後よく土と混ぜ合はせませう

▽分蘗期を過ぎてもまだ葉の色が褪せず、眞青である場合がありませう。これは稲が肥料分を澤山に含んでゐる證據ですから、かやうな場合は穂肥を行つてはなりません。

★表紙

南太平洋は決戦の修羅場だ。レンドバにムンダにニムニアに、砲聲が密林に轟き渡る。探偵した砲門の引金は、灼けて手をこがすほど熱い。が、それにもまして熱く燃えるもの、それは最後の一兵まで戦ふ皇軍傳統の敢闘精神だ。

昭津器



河ありて 山川行 供出木材に誇つて 津波を下る。これこそまことに増産の糧なり交

増産健民



常に健康 白路機

「より来たな、だが、うっかり此處は通せんない。君も若いんぢや、入口はあちり。挨拶は先づ健康と行かう」

大東亞戦争漫画日誌 川石 介



砕粉を敵の戦艦へダムム

襲撃強襲自艦へトシレ

見晴し山へ登るより船をつくらない

船か山か 植木 敏

慮事の英米ぬれ感を神

設計圖意製家の軍空米支在



汗は流しやう 山川 哲

「暑い汗をゴルフたまで、洗して作ったのが、かきかして、ままた他の作ったトマトで、かきかして行かんかい」

	勝	ま	國
	つ	だ	債
	た	あ	へ
	め	る	!
	に	無	債
		駄	券
		を	へ
	を		

を金貯債國

賣出

八月二十日より九月六日まで

人裁省

寫眞週報

禁轉載

昭和十八年八月二十日 印刷發行

信報局

内閣印刷局

郵料費

定額

十錢

外貨に依る地域は送料別

▲特天災の場合はその郵便物に依るより送料を中

定額

中

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

内閣印刷局印刷發行